

第8回くらす部会会議録

日 時	2018年2月8日(木) 13:30~15:30
場 所	地域連携交流施設 1階 地域活動室
テーマ	1、本日参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内容	<p>1、参加メンバー：12名</p> <p>2、協議課題</p> <p>○今年度の振り返りと、推進会議の発表内容確認・検討</p> <p>●グループホーム見学会(たつの市いねいぶる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害の方のための事業所 ・いねいぶるはグループホーム以外にも様々な事を行っている。カフェスペースでは、料理はプロが作り、当事者は接客等を行う。商工会の方など様々な方に来ていただき、見ていただく場になっている。 ・グループホームを見に行くという名目で訪れたが、今回はグループホーム部分を見ることは叶わなかった。 ・たくさんの活動の場を提供されている。就労継続B型と就労移行を両方やっている。就Bが4、5か所、移行が三か所ある。継続から移行に移る方が70% ・登録者数は100名、常時約60名が来られている。 ・朝に利用者全員が一言話す。元気度何%等、自分の状態を周りに知ってもらう。精神障害の方は、例えば病院に行っても医者に自分の状態をうまく伝えられなかったりする。こういった挨拶をすることで、自分の状態を人に伝える練習になる。 ・たくさんのはたらく場の中から、今日はどこにいくと自分で選び決められる。 ・施設長が大変柔軟な方で、よく働きかけをしている。 ・障害があっても、地域のためにはたらきたい、役に立ちたいという考えが根付いているような気がする。 ・精神の方も、いねいぶるでは明るくいきいきとされているように思う。 ・グループホームを見られなかったのはやはり残念 ・施設長によると、グループホームに入っている方は、いねいぶるの就労系を利用していない方であるとのこと。これはひとつところで完結してなくて良いと感じる。同じ事業所がやっているグループホームに行くと、その人の視野がせまくなりがち ・コアになる部分は2人1組で、そのコアが集まって一つのグループホームとなるユニット形をとっており、ユニットは固定せず流動的に変わっていく。支援員は外部派遣。 ・仮に一人暮らしをしたいという方が出てきたとすると、その人がどこかへ移るのではなく、ユニットから外れて今の場所でそのまま一人暮らしを始める。 ・午前中はAという場所ではたらき、午後はBという場所というような選択もできる。様々な体験をし、自信をつけて就労に向かえる。 ・企業や行政の方が、カフェに集まった際に、当事者がはたらいているところを見て、スカウトしたりすることもある。 ・最終的に地域で暮らせるようになることを目指しているため、入所施設など固定のものは

一切作らず、全て解体できるようにしている。

- ・地域の信頼も厚く、「いねいぶるさんなら」ということで物件を紹介されることもある。
- ・お弁当等の配達業務が地域の高齢者の安否確認にもなっている。
- ・障害者だけが集まるのではなく、祭りに参加するなど、地域に溶け込んでいっている。
- ・精神の方は集団が苦手な一人になりたい方も多いため、こういうやり方は良いと思う。
- ・共同生活が向いている人、個人でくらすのが向いている人、その人その人にあつた多様なくらし方がある。

●ヘルプマーク・カード

- ・ヘルプマークは県から配布、カード播磨町のものを使う。かけはしC A F E、はたらくみんなのお茶会でもカードを配布した。
- ・花でつなぐプロジェクトと協力し、花の鉢にヘルプマークステッカーを貼って町内公共施設等に配布し啓発を行う。

○障害者計画について

- ・障害の「害」表記は、以前は制度にかかる場合は漢字、人にかかる場合はひらがなにしていたが、社会モデルの考え方に則つて今回の計画では全て漢字になる予定

○まもる部会設立について

- ・これまではくらす部会に組み込まれていた部分も多いが、「まもる」は三部会全てに関わり、重要であるため、来年度からまもる部会を新設予定
- ・メンバーは各部会から2、3名程度選抜の予定

3、その他

○そだつ部会

- ・かけはし CAFE

平成30年1月30日(火)10:00~12:00

参加者19名(事務局含む) ヘルプマーク・カードの紹介も行った。

○はたらく部会

はたらくみんなのお茶会 平成30年2月4日(日)10:00~11:30

参加者13名(事務局含む)

- ・ヘルプカードとそれを入れるタグをひとつずつ配った。
- ・お茶会参加者は帰宅後自宅で大変楽しかったと話されたとのこと

○全体研修会 参加者69名(事務局・要約筆記含む)

- ・山陽電車やJRなどの駅で、電光掲示板や放送で

「譲り合ひましよう、声をかけましよう」という呼びかけがさかんになされていた。

○来年度の部会メンバーについて

改めて確認書類を送付